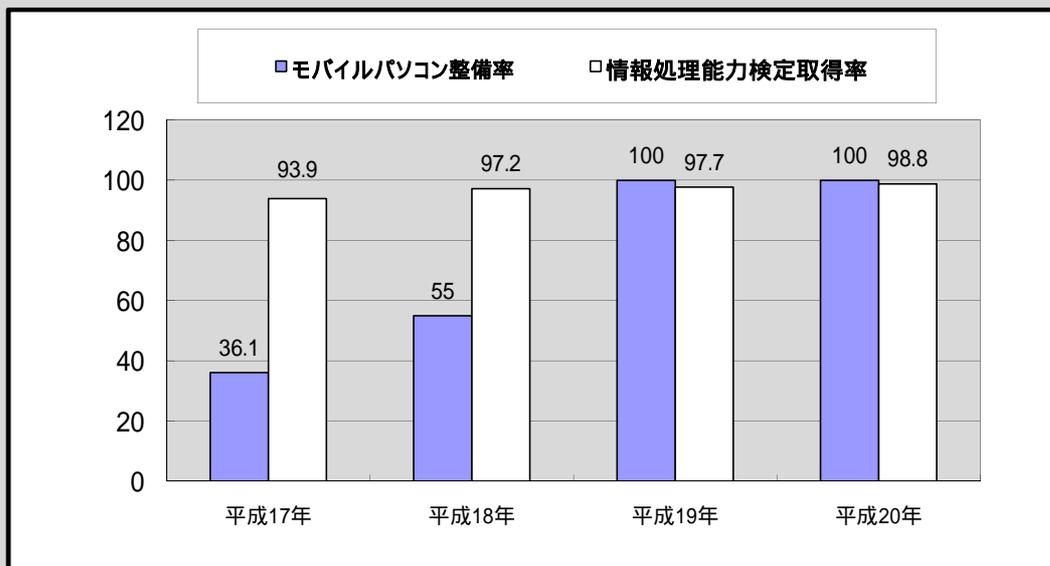


<b>業務名</b>	<b>情報管理業務の推進</b>
------------	------------------

**業務に関する統計**

項 目	統 計 の 推 移				単 位
	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	
モバイルパソコン整備率	36.1	55.0	100.0	100.0	%
情報処理能力検定取得率	93.9	97.2	97.7	98.8	%
	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	単 位
	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	単 位



**業務の主なコスト**

	事 業 名	平成20年度事業費(千円)	平成21年度事業費(千円)
1	中型汎用電算機運用経費	239,286	258,480
2	三重県警察IT化推進事業費	16,982	17,880
3	情報化基盤運営費	15,154	13,665
4			
5			
6			
7			
8			
	合 計	271,422	290,025

## 平成20年の取組み

現場警察活動用モバイルパソコンと警察W A N 端末のすべてに、警察庁自動暗号化ソフトウェアを導入し、外部記録媒体の自動暗号化等による情報セキュリティ対策の強化を図った。

警察W A N 端末を利用するすべての職員に個人単位のサーバ領域を整備し、これを有効活用させることによる外部記録媒体の総量抑制を図った。

公用パソコンの紛失、盗難防止対策として、モバイルパソコンを除いた警察W A N 端末及びインターネット端末にセキュリティワイヤーを整備した。

道路交通法の一部改正に伴う総合運転者管理業務のシステムを改修し、6月から運用を開始した。

職員の情報リテラシーの向上を図るため、警察W A N システム上に設けた「三重県警察eラーニングシステム」により、情報セキュリティ教養やアプリケーションソフト教養などを推進した。

また、情報管理専科教養など各種教養により職員の情報処理能力検定（警察部内の検定制度）取得率は、98.8%（前年比+1.1%）となった。

情報セキュリティ対策として、警察学校や巡回教養など約840人を対象とした情報セキュリティ教養を実施したほか、全所属に対する情報管理業務監査や業務指導を通じて推進状況の検証を実施した。

## 課題と平成21年の取組み

情報セキュリティ対策の一層の強化と利便性の向上に向けて、更に高度化した外部記録媒体の自動暗号化ソフトウェアを導入するほか、あらゆる機会を捉え、職員に対する指導・教養を徹底して、情報セキュリティ意識の向上に努める。

道路交通法の一部改正（認知機能検査の導入、運転免許の欠格期間の延長等）に伴い、総合運転者管理業務のシステムの改修を行い、平成21年6月からの運用を目指す。